

島根県の教育基本理念 <しまね教育魅力化ビジョン>
 “ふるさと島根を学びの原点に
 未来にはばたく 心豊かな人づくり”
 <しまね特別支援教育魅力化ビジョン>
 「地域の中で障がいのある子どもが持てる力を十分に発揮し、力強く、自分らしく生きる」ことを目指して

江津市教育大綱
 ◇教育ビジョン
 ふるさと江津を愛し、豊かな心で、明日を創る人
 ◇目指す姿
 1 ふるさと江津で生涯学び続けようとする人
 2 多様性を認め、自他を尊重する人
 3 夢と志をもち、未来を切り拓こうとする人

桜江小学校学校いじめ防止基本方針
 1 いじめを許さない学校経営・学級経営・授業づくりによる未然防止
 2 いじめの発見システムの活用
 3 いじめの対処システムの実行
 4 校長によるいじめ解消宣言まで、組織的な取組の継続

〈学校教育目標〉
よさをみがき 心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成

〈学校経営目標〉みんなで創るきらめく桜江小学校
 ◆子どもたちにとって安心安全な学校
 ◆日々の授業づくりや学級づくりを大切にしたい学校
 ◆家庭・地域と連携し、信頼される学校

〈めざす子ども像〉
 ○学び合い 高め合う子 ○認め合い ひびき合う子
 ○きたえ合い すこやかな子 ○ふるさとで学び 夢に向かう子

〈学校経営の基本方針〉
 (1)「進路保障」を柱とした人権教育を基底に据え、一人一人を大切にしたい教育活動の推進に努める。
 (2)知・徳・体の調和のとれた子どもを育成する。
 (3)家庭・地域と連携・協働しふるさとを大切にしたい子どもを育成する。
 (4)生徒指導・特別支援教育の視点を大切にしたい授業づくり、学級づくりに努める。
 (5)子どもの安全と安心が保障される教育環境・条件の整備と充実をめざす。
 (6)職員が働きやすく、前向きに仕事ができる校内組織をつくる。

日本国憲法 教育基本法 学校教育法

小学校学習指導要領
 ◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する。
 ◎豊かな創造性に備え、持続可能な社会の創り手となることが期待される児童に、生きる力を育む。
 ・知識及び技能が習得されるようにする。
 ・思考力・判断力等を育成する。
 ・学びに向かう力、人間性等を涵養する。
 ◎教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていく。(カリキュラム・マネジメント)

〈めざす職員像〉
 ★優しさ・厳しさ・遊び心(仕掛け)をもった職員
 ★子どもの良い面をとらえ、伝えることができる職員
 ★子ども・保護者・地域との信頼関係を基盤に、支え合い・学び合い・高め合う職員集団

桜江小学校 人権宣言
 仲間を大切に、思いやりのある行動をしよう
 ☆じぶんからあいさつをしよう☆「ありがとう」「ごめんなさい」を言おう

取組を具現化するための各チームの具体的施策

☆教務部(学びづくり)
 ○基礎基本の定着
 ・ミニ学習タイム(火曜)
 ・支援員との連絡・調整
 ○日頃を鍛える学校行事・集会活動
 ①見通しをもった行事・活動計画
 ②学校行事につなげる日常指導
 ③ねらいを明確にした行事・集会
 ④行事・集会後、評価を児童に返す
 ⑤来年度につながる行事のふりかえり(反省をまとめる)
 ○学校図書館の有効活用(場の設定)

☆研究部(授業づくり)
 ○校内研究の推進
 ・校内研究計画の立案と掲示
 ・計画的な研究授業
 ・職員研修の充実
 ○学力向上
 ・授業改善
 →学力調査の課題をもとに
 ・家庭学習の充実
 →家庭学習の実施(データの集計と活用)
 →自主学習の推進(全校に向けた自学モデルの提示、アイデアの提供)
 ○キャリア教育
 ・年間指導計画の見直し
 ・キャリアパスポートの作成
 ・基礎資料の蓄積

☆指導部(仲間(心)づくり)
 ○さくらえっ子を語る会
 ・情報の共有
 ・子ども一人一人を全職員で見守り支える
 ・子どものよさに目を向ける
 ○生活目標の意識化
 ・具体目標の取り組みとふりかえり
 →自分たちで良くしよう
 ○児童会活動の活性化
 ・縦割り班活動の充実
 ○自他ともに大切にする感性
 ・気持ちよいあいさつ、返事、言葉づかい、礼儀・マナー
 ○よりよい関係を築く力
 ・相手の思いを察する、折り合いをつける、協働する、あたたかい話し合いを目指す気持ち

☆保健体育部(身体づくり)
 ○体づくり
 ・週1回の朝マラソン(雨なわとび)の継続
 ・教科体育での運動量の確保
 ・マラソン記録会の実施
 ・なわとび集会の開催
 ・体育委員会の活動の充実・発展
 ○生活習慣の確立に向けて
 ・学期に1回メディアコントロールウィーク
 ・メディア・性に関する指導の充実
 ・身体測定に合わせた保健指導
 ・保健委員会の活動の充実・発展
 ○食育の充実
 ・自分で決めた量を食えること
 →残菜ゼロを目指して
 ・めあてを意識
 ・給食委員会の活動の充実と発展

☆総務,事務部(環境づくり)
 ○学校危機管理の組織的取組
 ・学期毎の避難訓練、危機管理研修の実施、管理マニュアル確認
 ○働き方改革
 ・職員の自己肯定感・満足感・充実感の向上、SSSの活用
 ・日々の暮らしを楽しむ(ワーク・ライフ・バランス)
 ・校務支援システムの活用
 ○確かな安全管理
 ・適切な修繕活動
 ・子ども修繕アンケート
 ○整理整頓(みんなで整頓)
 ○予算執行状況の周知(節約、裏紙の有効利用等)

『自己肯定感』を育む(受容 ほめる 認める 励ます)